令和4年度 まちづくりびと講座(全連続4回)レポート

まちが いぃ メガネで まちを見てみよう



第2回 「あなたの小ネタを 深掘りしよう」

日時:10月29日 時間:13時30分

-16時30分 参加者:11名

オープンチャットの様子

小ネタを見つける目「KNTアイ」を、磨いていくためのオ ープンチャット。「次回の講座までに、ぜひ日常的に小ネ タを探し、投稿してくださいね とお伝えしていましたが オープンチャットは静かな日が続きました。「忙しい毎日 に、小ネタを見つける余裕はないかしら・・・? | と思っ ていたら、第2回の講座の1週間前くらいから、続々と小 ネタがあがってきました!





▲スタッフもメガネでスタンバイOK!

▲タイムキーパー

まちが いぃ メガネで 第二回目 タイムスケジュール

13:30 開会・オリエンテーション

13:35 わたしの「趣向」自己紹介

コラム シビックプライドについて 13:45

14:00 グループワーク① 切り口

14:30 休憩

14:40 深掘りについて

14:30 講義①深掘りについて

15:00 個人ワーク

グループワーク② 15:05

15:25 シェア&フィードバック(全体で)

15:45 講義②図書館を使った深掘り

16:00 講義③ISMを使った深掘り

16:15 本日のシェア(全体で)

16:30 事務連絡、終了









▲「本日のタイムスケジュールです!」 あれ?講座のキャラに似てる・・・・!

アイスブレイク 本日のお題



毎回最初に「わたしの趣句」をお話してもらうコーナー。本日は、「私の好きな地下鉄の駅」です。えっ「好きな」駅?「よく利用する駅」や「住んでみたい駅」などの問いなら、答えやすいですが、「好きな駅」というのは、どういう観点から?

そこも含めて、みなさんのお答えに期待が募ります。「伏見」 「今池」飲みに行くのが好きだから!「八事」出入り口ごとに表 情が違うところ。「藤が丘」地下鉄なのに地上に出るところ。な ど、へええ、そういう視点が、というお答えが、その方の趣向が みえて、興味深かったですね。



「小ネタ」とまちづくり シビックプライドの観点から

「シビックプライド」という言葉をご存知ですか。「愛着・誇り・推奨度」について、どの指標も、名古屋は、どうも他の都市に比べて低いという結果が。

でも、自分が住んでいる都市を、人におすすめできない、なんて、ちょっとさみしい・・・。

わたしにできることは?小ネタをたくさん発信し、魅力のアピールをしたらどうでしょう。自分が好きと思えないまちを、外から来る人に、好きになってもらうことはできないですよね。



グループワーク1 そして深掘りへ

宿題は、歩いてみて小ネタを探そう、そして切り口を考えよう。 みんなでまずは、情報交換。わたしはこんなの見つけました! 休憩を挟んで、深掘り。

なぜ深掘いが必要?

- 人に話したくなる
- へえそうなんだ
- 関心をひく話題をもつ、みんなが楽しいとおも うきっかけになる





熱田のアイドルに扮した総合ナビゲーターの井村さんから、なぜ小ネタを深掘りすることが必要?というなげかけが。まちを歩いて、面白い!と思う小ネタをみつけたら、人に話したくなりますよね。そして、人の興味をひき、みんなが知りたいな、行ってみたいな、って思うきっかけに。深掘りしたら、みんなに小ネタを広めることに繋がるんですね。



▲熱田のご当地アイドルユニットの紹介と、なんとそのコスプレ!

熱田小ネタ新聞の記者 になってみよう



切り口を考えたら、次は深掘り・・・これを、 新聞をつくるときの手順を紹介しながらコツを おしえてもらいます。何を伝えたいのか、「5 W1H、6W3Hで掘っていこう」「情報提供、 疑似体験、行動喚起、感情移入」など、へえ え!普段何気なく読んでいた記事、そんなふう に作られていたんだ~。小ネタもこんなふうに 深掘りしていくと、ますます面白さを深めてい けそう。



▲ハロウィンの魔女?に扮した編集長です

グループワーク2 伝えたいことを書き出そう



先の講義をうけて、「自分の小ネタ、どんなふうに深掘りしていったら面白いだろうか」を、考える時間です。自分では思ってもみなかったことを、他の方からアイディアいただいたり。立ち上がったり覗き込んだり、「身体」を使ってみんなで話をしている…そんなグループワークの醍醐味も。「みんなで作っていく講座」ということが感じられる一幕でした。

発 表

お一人お一人、切り口と、深掘りしたいことを発表。「擁壁」「レトロな商店街」「スポーツの聖

地」・・・?なんだかどれも、興味深い!みなさんの小ネタがどんな形になっていくのか、楽しみですね。







こんな調べ方も①「図書館を使った深掘り」



共催である熱田図書館司書の山下さんより、図書館のレファレンスサービスや、HPより「なごや何でも調査団」のご案内。これまでには「ふとんの作り方が知りたい」なんていうレファレンスもあったとか。そして、みなさんの小ネタに効きそうな本を、図書館より色々もってきてくれました。



▼本はまさに「切り口」。どれも 手に取ってみたい「ネタ」です







こんな調べ方も② 「ISM」を使った深掘り





都市センターの運営する「まちづくり情報システム ISM」。地図を、年代を変えてみたり、昔の風景写真が見れたり、標高や、ハザードマップも見ることができます。小ネタによっては、活用すると面白いかも。見始めるとどんどんみたくなり、みんな時間を忘れてやってみていました。

宿題とエンディング

さて、本日の講座も終わり。盛りだくさんの内容でしたが、どうでしたか。一言づつ感想を。「同じネタでも、人によって切り口が違うことがわかった。」「普段、仕事などでも使わない頭の部分を使った」など、頭の中に何かが起きている感じ…!いいですね~ 受講してくれた方の意識が、視点が変わっていく。そんな気配を感じて、次回はいよいよ、タイトルをつけて、「小ネタ新聞」を仕上げていきたいと思います。

